

★長(な)ご生ぎやいの唄★ <歌詞>

◎ちゃんサネが口上と2番以降作詩

- 1 昔 昔はその昔 ロングロング ロングアゴーちゃんいけれど
徳川幕府は江戸時代 時は天保七年だ 薩摩の南は鹿籠の郡
枕ヶ崎は諸国名所百景に 選ばれたることお目出度い 時の太守は
藩主島津の分家にて 喜入家の 喜入多門鹿籠のかみと申し候。
さればされば、この殿さまの一世一代ご長寿祈願 殿さま上さま田のかんさあよ ごきげんよ
長生きしてね 長生きしてねと 祝います。
桜山 桜の城から出張って参る 家来家臣は踊ります。 ああ踊ります。
寿星寿星じゅせじゅせじゅせじゅせじゅせ〜い踊りだ、さあいくぜ〜！

爺さん 婆さん な〜ご生ぎやい !! (手拍子パンパン)
米も安ない (粟も安ない) 味噌も安ない 世もゆるなるアソ〜レ
米も安なる 味噌も安なる 世もゆるなる
アソ〜レ ヨイヨイ なごいぎやんせ とんちきちき とんちきち すりすりすりす〜 ×2 (口上)

- 2 かしらに長〜い 頭の帽子 七福神は 寿老人
ご存知有名 七福神は 恵比寿 大黒 毘沙門天に 布袋 弁才天 福祿寿
最後にひかえし 頭が長〜い 長〜生きの神 お爺さん その名も その名も 寿老人
この方 住んでる 南の星は なんと真南 南極星
人の寿命を つかさどります それゆえに 寿の星と書いて ジュセイです
じゅせじゅせじゅせじゅせじゅせじゅせ、じゅせ〜い踊りだ
お目出度いじゅせじゅせじゅせ、じゅせ〜い踊りだ、さあいくぜ〜！

トオさん カアさん ゆっきかせやい !! (手拍子パンパン)
オイもゆがない ワイもゆがない まくらざき弁アソ〜レ
オイもゆがない ワイもゆがない 枕崎弁
アソ〜レ ヨイヨイ なごいぎやんせ とんちきちき とんちきち すりすりすりす〜 ×2 (口上)

- 3 かしらが長いよ 寿星のじいちゃん 頭が伸びるよ 寿老人
そん頭の 先つちよに、 ハチが巣作り ハチが巣作り
困ったもんじゃ 弱ったもんじゃ もんじゃ焼き
振り払いたい 取り払いたい、えんやさつ えんやさつと
ところがどっこい 手が届かんたつちば 御立ち合い、困った弱った ひんねまった。
そこで寿老は そこで寿星は 隣通しで ビンタをこする
すりすり すりすりすりすり こらきもちんよか こすりましょ こすりこすり すりすりすりすり
頭と頭と こすりあわせて 踊りましょうよ
あじゅせいじゅせいじゅせじゅせじゅせじゅせ、
寿老人がこすって踊る、しこしこしこしこ さあ〜 いくぜ〜

アンさん アネさん はめちけやい !! (手拍子パンパン)
いっきよくなつ め晩よくなつ 子もふえるアソ〜レ
いっきよくなる 毎晩よくなる 子もふえる
アソ〜レ ヨイヨイ なごいぎやんせ とんちきちき とんちきち すりすりすりす〜 ×2 (口上)

- 4 これは出鱈目なんかじゃ おまへんで～ 天保七年 太守のお供
伊東草臣 書き遣したる その名も 薩摩見聞記 その見聞記をばひも解けば
「六月一日 加世田より 鹿籠枕崎まで 五里にて宿る
当所は喜入多門殿の 私領なり。 鯉多く 鯉節を製すいう。
その鯉 運上 三千石余りなり 塩浜も ありてよきところなり。
海中に 立神という岩、丈五十丈におよぶ由。
角力立神というは 元来 当所より出でしなり。
スイカの初物を食べ 地引の網引きご覧 ほどなく 寿星踊りというあり。
当領主 一代に 一度の由。老人のみ 貴賤僧俗に限らず 寿星のかしらをかぶり
踊り唄の趣は 寿星の頭に 蜂が巣かけて手は届かず 頭と頭を刺し合う也。
この踊り 済みて 当浦の 分限者の子供芝居あり 三番叟 鯉売り白石ばなしなどこれあり候。
六月二日滞在 坊の津見物に罷り越し候」と結びたり。 由緒あります
この踊り 寿星寿星じゅせじゅせじゅせじゅせ 寿星踊りを、おどいもんそう

坊ちゃん 嬢ちゃん 字をなるやい！！ (手拍子パンパン)
俳句作れる 和歌もうどがない 世もゆなるアソ～レ
俳句作れる 和歌もうどがない 世もゆなる
アソ～レ ヨイヨイ なごいぎやんせ とんちきちき とんちきち すりすりすりす～ ×2 (口上)

- 5 それにつけても それにつけても 諸国名所百景というは
安藤広重二代目の 二代歌川広重が 枕崎
まかり越さずにまかり越さずに 人の話をきいて描いた 錦絵
みごとな 木版画 江戸時代の板刷りでござる
その名も 「薩州枕崎海門ヶ嶽寿星踊り」と申します。
これなる絵草子ご覧うじろ。 開聞岳は駿河富士 霊峰富士山ぢゃおまへんか
薩摩富士ではないわいな 海中立ちたる立神岩は 右がとんがる偽立神よ
その手前 武家が数人踊ります これが うわさの寿星踊りの様子にて
白き砂浜 松林 これぞ昔の まんのや浜よ 松の尾海岸懐かしや
みごと描いた よくぞ描いた 広重さんよ
その名も 「薩州枕崎海門ヶ嶽寿星踊り」と申します。
これを 当世に復活させて 爺ちゃん婆ちゃん 長生きしてね
こどもの日には 子供の願い 爺ちゃん婆ちゃん 長生きしてねと書き記し 南極星を拝みつつ
頭をすりすり こすり合わせて みなで祈ろう みなで踊ろう 寿星踊り
寿星寿星 じゅせじゅせじゅせじゅせ 寿星踊いを、踊りまいろうぞ～～

ヂさんババさん な～ご 生きやい (手拍子パンパン)
孫と遊んみゃんせ 玄孫見やんせ 楽すんぢゃアソ～レ
孫と遊んみゃんせ 玄孫見やんせ 楽すんぢゃ
アソ～レ ヨイヨイ なごいぎやんせ とんちきちき とんちきち すりすりすりす～ ×2 (口上)